



大阪市長
横山 英幸 様

令和 8 年 7 月 23 日
大阪市介護支援専門員連盟
会長

〒[redacted] 大阪市 [redacted]
電話 [redacted]
FAX [redacted]
Mail [redacted]

介護支援専門員の安全に関する要望書

はじめに

令和 8 年 6 月 1 日に埼玉県川口市の住宅で、ケアマネジャーが利用者宅玄関で殺害されるという痛ましい事件が起きました。報道として「通報の際、男は「お金をだまし取られたので、殺そうと思った」と話したが、金銭トラブルは確認されていないという。警察は、男が一方的な思い込みでケアマネジャーを殺害したとみて調べている。」となっている。このような事件が二度と起きないために早急の対策が必要と考え、利用者及びその家族等の介護支援を安全にできるようにご尽力いただきたく以下の要望を致します。

1. 要望の趣旨

介護支援専門員は在宅高齢者の生活を支える専門職であるが、本連盟が実施した「大阪市内で活動する在宅介護支援専門員の安全に関するアンケート」において、ケアマネジャーが業務中に生命の危険に直結する事案に日常的に晒されている実態が明らかとなりました。アンケート結果は、総回答数 646 件、そのうち有効回答数 624 件でした。

その中で、「在宅の利用者宅を訪問する際、危険を感じたことはありますか？」という問いに対して 64%の方が「ある」と答えていました。どのようなことがあったのか聞くと、「包丁を持って脅された」「ナイフを向けられた」「殴られる、蹴られる」「人格否定の怒鳴り」などの深刻な記述が多数寄せられました。

この結果は、カスタマーハラスメントにおさまらず、脅迫、恐喝（疑い）及び傷害罪の被害を受ける可能性が高いことがわかりました。

現行制度では、こうした危険から現場を守る仕組みが十分ではなく、制度改善と行政支援体制の強化が急務であると考えます。

ついては、下記の事項について早急な対策を要望します。

2. 要望事項

(1) 介護支援専門員が利用者の自宅に訪問する法令上の義務の柔軟的取り扱いの実施

アンケートの中に「危険を感じても我慢して訪問した」という回答が多く見受けられました。これは、危険を感じるが自宅に訪問しなければ運営基準減算となることを避けるための行動と考えられます。危険性を避けるには、モニタリング及びアセスメントで自宅訪問する際、「やむを得ない事由」として「介護支援専門員が訪問する際、危険を感じた場合」をやむを得ない事由として認めていただき、危険がある場合は別の方法でモニタリング情報を収集する方法を認めてください。

なお、令和6年度より開始されたいわゆる「オンラインモニタリング」には利用者の状態が安定しているなどの複数の条件が必須であり危険を及ぼす可能性がある方から介護支援専門員を守る方法としては断片的であることを申しつけ致します。

(2) 危険ケースに対する複数訪問の制度化

危険性が高いケースは必ず2名以上で訪問し、複数訪問に対する報酬加算の創設や、行政・地域包括支援センターの同行義務化を検討してください。

(3) 危険情報の共有と行政支援体制の強化

「危険ケースの相談窓口が機能していない」「事前に危険性が分からない」との指摘が多くみられました。

危険事例の情報共有システムの構築し、行政内に専門相談窓口を設置ください。

(4) 暴力・ハラスメント時の即時契約解除制度の明確化

契約解除の困難さが課題として挙げられました。暴力・暴言・セクシャルハラスメント発生時の即時契約解除の明文化し、解除後の行政による支援・介入の仕組みの整備をお願いします。

(5) 安全装備・記録手段の整備

録音・録画・緊急通報装置の必要性が示されました。

録音・録画の許可に関するガイドライン整備し、ウェアラブルカメラ・GPS・防犯ブザー等の購入費用の助成金を求めます。

(6) 運営基準の緩和

指定居宅介護支援事業所は正当な理由なく指定居宅介護支援の提供を拒んではならないとされていますが、正当な理由として利用者及び家族などからの暴力・ハラスメントを含めてください。

3. 結び

アンケート調査により、ケアマネジャーが日常的に重大な危険に晒されている現状が明らかとなりました。特に、刃物提示・暴行・脅迫・性的被害など、生命・人権に関わる事案が多数報告されています。

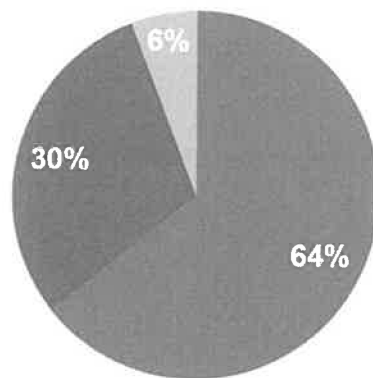
そのため、ケアマネジャーの安全確保は喫緊の課題であり、制度改正と行政支援体制の強化が不可欠であることから、大阪市におかれましては、本要望の趣旨をご理解いただき、早急な対応をお願い申し上げます。

以上

参考資料

<アンケート結果 一部抜粋>

質問1：在宅の利用者宅を訪問する際、危険を感じたことはありますか？

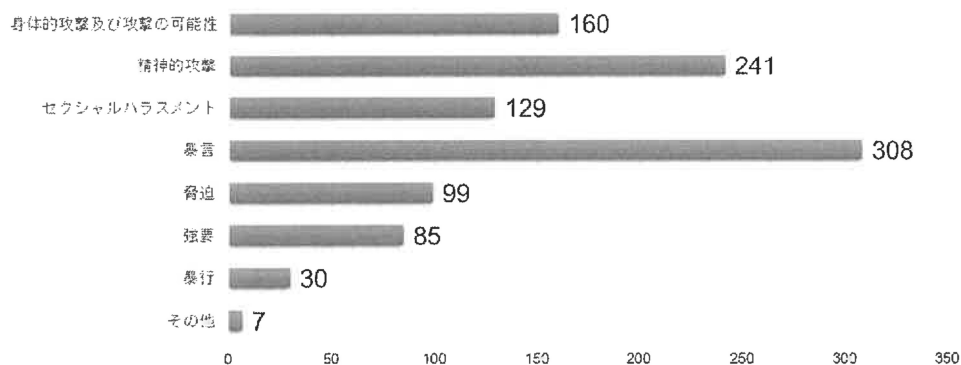


■はい ■いいえ ■わからない

質問2：「質問1」で危険を感じたことが「はい」とお答えいただいた方にお聞きします。

危険と感じた理由を以下から選んでください(複数回答可能)

質問2：危険と感じた理由を以下から選んでください
(複数回答可能)



質問3:「質問2」で危険を感じた理由にチェックいただいた方にお聞きます。

どのような危険があったか記載できる範囲でご記載ください。

<全回答 371 件回答より一部抜粋>

「帰れ」と罵声を何度も浴びた
・胸を触ろうとされた(気付きかわすことはできた)・一方的な要求を声で言い捨てる、内容は些細なことでも態度が恐怖に感じた。
・興奮時、傘、キリ、包丁など刃物の持ち出し・介護サービスやケアマネの対応についての不満(介護保険の範疇を超えた要望等)による長時間拘束、昼夜問わずの本人、親族数名からの頻回(度を超えた)電話連絡(攻撃) ・アダルト番組や性的グッズ等を見せながら性的発言を繰り返す・手や足、胸等、身体に触れてくる、キスしようとしてくる ・金銭や貴重品紛失時の盗難疑惑・老朽家屋、ゴミ屋敷の訪問(急な入院、施設入所となった利用者の荷物の運びだしの手伝い)、賞味期限切れやカビが生えた飲食物の摂取の強要(毎回受け取れないことを説明しても覚えていない、聞き入れない)
・杖を振り回された。・深夜の電話攻撃 ・殺したろかなど暴言など ・抱きついてきたなどた
1,利用者の息子が執拗に事業所に訪問し、事実と異なる事で罵倒する。2,自宅訪問時利用者より、事実と異なる内容で罵倒し、思い込みや自身の希望が通らないと反社会的勢力に知り合いがいて等、脅すような発言、長時間の拘束等。
①怒鳴りながらゴルフクラブを振り回して攻撃された②物を次々と投げられ、最後に殴られそうになりましたが本人がバランス崩して転けた③ケアマネの座る位置に向けてスマホスタンドにスマホがセッティングされており勝手に動画を撮られていた
さしみ包丁にて刺されそうになった。
ベッドに力ずくて引っ張られそうになった。包丁を突き付けられた。胸ぐらを掴まれ壁に押さえられた
ヘルパーさんへのセクハラを注意しに男性利用者さんと話し合いしてましたが、大声で怒鳴られて、包丁持ってるとか、ヤクザに知り合いいてるとか恫喝されました。
殴られそうになった。事務所に火を付けにいくと脅された。殺すやただではすまないと言われた。監禁された。

質問5:「質問1」で危険を感じたことが「はい」とお答えいただいた方にお聞きします。
危険と感じたときに対応した内容を教えてください(複数回答可能)

質問5：危険と感じたときに対応した内容を教えてください
(複数回答可能)

